



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月7日

上場会社名 カネソウ株式会社

上場取引所 名

コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 健治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 南川 智之

TEL 059-377-4747

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,496	14.7	185	67.5	147	71.9	85	75.7
2020年3月期	7,614	4.1	569	66.7	526	71.1	353	77.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	60.40		0.6	0.9	2.8
2020年3月期	248.57		2.6	3.3	7.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,714	13,663	86.9	9,596.82
2020年3月期	15,919	13,782	86.6	9,680.67

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,663百万円 2020年3月期 13,782百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	446	194	212	729
2020年3月期	619	183	213	689

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		75.00		75.00	150.00	213	60.4	1.6
2021年3月期		75.00		75.00	150.00	213	248.3	1.6
2022年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00			

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,270	5.9	89	20.6	94	65.3	60	92.6	42.14
通期	7,000	7.7	400	116.1	410	177.6	275	219.8	193.16

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,440,000 株	2020年3月期	1,440,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	16,290 株	2020年3月期	16,290 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,423,710 株	2020年3月期	1,423,710 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済や社会活動が大きく制限された影響から急速に悪化しました。感染症防止に向けた取り組みが続き、段階的な制限解除など経済活動の再開が進められ、持ち直してまいりました。しかしながら再三にわたる感染症拡大が続き、現下におきましても再拡大が続くなど、先行きの見通しは依然として、予断を許さない状況にあります。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、新規着工件数の減少や、工事の遅延、及び工事の一部停止などの影響から、民間設備投資も回復途上ながら低調に推移したことから、受注環境は低位な状況となりました。また、材料価格をはじめとするコスト環境の変動や労働環境の変化など、取り巻く事業環境は厳しい状況が続きました。その結果、売上高は、64億96百万円（前年同期比14.7%減）となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、外構、街路関連工事が低位な状況が続き、外構・街路関連製品が減少し、建築工事関連も建築着工件数が低下したことから、雨水排水・防水関連製品が減少し、17億36百万円（同10.9%減）となりました。

スチール機材は、民間設備投資が減少したことや土木工事関連の納入が低位な状況が続きましたことから、外構・街路関連製品などが減少し、11億41百万円（同8.2%減）となりました。

製作金物は、上期における工事が進捗したことによる防災関連製品の納入が進みましたが、下期における工事量の減少が影響し、低位な状況となり、また、建築工事の低下により、建築金物が減少し、外構、街路等景観整備工事も低調な状況が続きましたことから、外構・街路関連製品の減少もあり、32億15百万円（同18.8%減）となりました。

その他鑄造製品は、公共投資が低位ながら、土木需要がやや改善し、建機、機械向け製品も納入先の生産調整から期初より大幅に減少しましたが、年度後半から需要が回復傾向となり、4億3百万円（同13.1%減）となりました。

利益につきましては、感染症拡大が収まらない状況下にあつて、市場環境の改善が進まなかったことから、需要回復には至らず、売上や生産が低位な状況が続き、収益環境は厳しいものとなりました。その結果、売上総利益は、22億12百万円（同18.1%減）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、感染対策など費用負担が一部増加しましたが、全般的に支出が低下しました。その結果、営業利益は1億85百万円（同67.5%減）となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が更に進む状況となり、収益の低い状況が続きました。その結果、経常利益は1億47百万円（同71.9%減）となり、当期純利益は85百万円（同75.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産総額は157億14百万円となり、前事業年度末に比べ2億5百万円減少いたしました。これは主に、流動資産のうち、製品が1億31百万円増加しましたが、売掛金が1億80百万円、受取手形が1億46百万円、固定資産のうち、機械及び装置が1億41百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は20億51百万円となり、前事業年度末に比べ86百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のうち、未払法人税等が1億16百万円、買掛金が43百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は136億63百万円となり、前事業年度末に比べ1億19百万円減少いたしました。これは利益剰余金について、当期純利益の計上が85百万円ありましたが、剰余金の配当が2億13百万円あったこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7億29百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円増加しました

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因につきましては次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、4億46百万円（前期比1億73百万円の収入減）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加が1億61百万円、仕入債務の減少が43百万円、法人税等の支払額が1億76百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が1億47百万円、減価償却費の計上が3億19百万円、売上債権の減少が3億56百万円あったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1億94百万円（前期比10百万円の支出増）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が76億円ありましたが、定期預金の預入による支出が76億円、有形固定資産の取得による支出が1億73百万円あったこと等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億12百万円（前期比0百万円の支出減）となりました。

これは、配当金の支払が2億12百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策が続けられる中で、国内外ともに、いまだ収束時期の見通しが立たない状況にあり、経済、社会活動への影響が続くことが見込まれ、取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。経済や社会活動が本格的に回復するにはしばらく時間を要するものと考えられます。建設関連業界におきましても、こうした環境が長期にわたり続いていることから、建設需要やニーズの変化から、新規着工や民間設備投資の先送りや縮小となることも予想されます。こうした厳しい外部環境の長期化に対して、業務の効率化と生産性の向上により、収益力の改善を図り、顧客ニーズに沿った新製品の開発や受注の確保と市場環境の変動に対しても安定供給に努めてまいります。事業継続への防疫対策も整え、収益の確保、改善に取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,289,824	8,329,494
受取手形	330,320	184,093
電子記録債権	208,630	179,246
売掛金	975,056	794,577
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	531,375	662,756
仕掛品	118,043	148,187
原材料及び貯蔵品	433,962	434,019
前払費用	9,142	9,150
その他	8,098	13,115
貸倒引当金	△12,451	△7,932
流動資産合計	12,192,004	12,046,708
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,089,085	4,112,329
減価償却累計額	△3,505,397	△3,542,943
建物（純額）	583,687	569,385
構築物	398,114	398,561
減価償却累計額	△329,522	△338,176
構築物（純額）	68,591	60,385
機械及び装置	4,187,619	4,063,788
減価償却累計額	△3,386,442	△3,404,503
機械及び装置（純額）	801,176	659,285
車両運搬具	161,890	161,843
減価償却累計額	△129,394	△137,569
車両運搬具（純額）	32,495	24,273
工具、器具及び備品	1,727,683	1,673,517
減価償却累計額	△1,661,364	△1,599,292
工具、器具及び備品（純額）	66,318	74,225
土地	1,732,878	1,732,878
リース資産	8,820	8,820
減価償却累計額	△8,820	△8,820
リース資産（純額）	—	—
建設仮勘定	20,790	79,203
有形固定資産合計	3,305,938	3,199,636
無形固定資産		
ソフトウェア	40,446	61,400
その他	182	182
無形固定資産合計	40,629	61,583

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	61,060	71,747
関係会社株式	10,000	10,000
出資金	3,600	3,600
長期前払費用	1,520	22,689
繰延税金資産	139,431	139,975
その他	177,755	170,446
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	381,367	406,458
固定資産合計	3,727,934	3,667,678
資産合計	15,919,938	15,714,386
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,107	266,865
未払金	127,182	170,547
未払費用	48,239	49,808
未払法人税等	169,396	53,160
前受収益	360	378
賞与引当金	58,308	58,897
その他	70,971	41,320
流動負債合計	784,566	640,978
固定負債		
退職給付引当金	296,945	315,881
役員退職慰労引当金	479,223	501,083
その他	576,735	593,348
固定負債合計	1,352,905	1,410,313
負債合計	2,137,471	2,051,292

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金		
資本準備金	1,320,000	1,320,000
資本剰余金合計	1,320,000	1,320,000
利益剰余金		
利益準備金	275,400	275,400
その他利益剰余金		
別途積立金	9,900,000	9,900,000
繰越利益剰余金	527,378	399,819
利益剰余金合計	10,702,778	10,575,219
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,772,950	13,645,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,516	17,703
評価・換算差額等合計	9,516	17,703
純資産合計	13,782,467	13,663,094
負債純資産合計	15,919,938	15,714,386

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,614,288	6,496,808
売上原価		
製品期首たな卸高	492,759	531,375
当期製品仕入高	902,399	774,159
当期製品製造原価	4,051,307	3,642,168
合計	5,446,466	4,947,702
製品他勘定振替高	443	348
製品期末たな卸高	531,375	662,756
売上原価合計	4,914,647	4,284,597
売上総利益	2,699,640	2,212,211
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	535,605	474,227
給料及び手当	565,890	556,242
貸倒引当金繰入額	△2,501	△4,519
賞与引当金繰入額	35,447	35,825
退職給付費用	14,539	14,339
役員退職慰労引当金繰入額	20,538	21,860
減価償却費	49,247	53,558
その他	910,905	875,560
販売費及び一般管理費合計	2,129,672	2,027,094
営業利益	569,967	185,116
営業外収益		
受取利息	1,220	868
有価証券利息	456	393
受取配当金	2,482	2,135
不動産賃貸料	18,638	18,873
雑収入	3,055	3,357
営業外収益合計	25,852	25,627
営業外費用		
支払利息	11,261	11,406
売上割引	54,281	47,087
雑損失	4,099	4,548
営業外費用合計	69,643	63,042
経常利益	526,176	147,702
税引前当期純利益	526,176	147,702
法人税、住民税及び事業税	174,345	64,544
法人税等調整額	△2,057	△2,839
法人税等合計	172,287	61,704
当期純利益	353,888	85,997

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	387,047	10,562,447
当期変動額							
剰余金の配当						△213,556	△213,556
当期純利益						353,888	353,888
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	140,331	140,331
当期末残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	527,378	10,702,778

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△69,828	13,632,618	18,338	18,338	13,650,956
当期変動額					
剰余金の配当		△213,556			△213,556
当期純利益		353,888			353,888
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△8,821	△8,821	△8,821
当期変動額合計	—	140,331	△8,821	△8,821	131,510
当期末残高	△69,828	13,772,950	9,516	9,516	13,782,467

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	527,378	10,702,778
当期変動額							
剰余金の配当						△213,556	△213,556
当期純利益						85,997	85,997
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△127,559	△127,559
当期末残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	399,819	10,575,219

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△69,828	13,772,950	9,516	9,516	13,782,467
当期変動額					
剰余金の配当		△213,556			△213,556
当期純利益		85,997			85,997
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			8,186	8,186	8,186
当期変動額合計	—	△127,559	8,186	8,186	△119,372
当期末残高	△69,828	13,645,390	17,703	17,703	13,663,094

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	526,176	147,702
減価償却費	320,017	319,296
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,501	△4,519
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,704	18,935
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,561	21,860
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,251	589
受取利息及び受取配当金	△4,159	△3,397
支払利息	11,261	11,406
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,608	356,090
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△87,600	△161,581
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	485	△5,372
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	7,737	△11,760
仕入債務の増減額 (△は減少)	53,288	△43,241
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△28,132	△31,691
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	9,609	16,419
小計	746,561	630,734
利息及び配当金の受取額	4,212	3,744
利息の支払額	△10,878	△11,209
法人税等の支払額	△119,919	△176,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,975	446,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,600,000	△7,600,000
定期預金の払戻による収入	7,900,000	7,600,000
有価証券の取得による支出	△1,300,000	△1,300,000
有価証券の償還による収入	1,300,000	1,300,000
投資有価証券の取得による支出	△437	△204
有形固定資産の取得による支出	△446,039	△173,213
無形固定資産の取得による支出	△37,706	△22,067
その他の支出	—	△195
その他の収入	252	1,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,930	△194,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△213,452	△212,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,452	△212,796
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	222,592	39,669
現金及び現金同等物の期首残高	467,232	689,824
現金及び現金同等物の期末残高	689,824	729,494

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	9,680.67 円	9,596.82 円
1株当たり当期純利益金額	248.57 円	60.40 円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益(千円)	353,888	85,997
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	353,888	85,997
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,423	1,423

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,782,467	13,663,094
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,782,467	13,663,094
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	1,423	1,423

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

1. 業 績

科目	金額	前期比
売上高	64億96百万円	△14.7%
営業利益	1億85百万円	△67.5%
経常利益	1億47百万円	△71.9%
当期純利益	85百万円	△75.7%
1株当たり当期純利益	60円40銭	(前期248円57銭)

製品分類別売上高の状況

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,736	26.7	△10.9
スチール機材	1,141	17.6	△8.2
製作金物	3,215	49.5	△18.8
その他	403	6.2	△13.1
合計	6,496	100.0	△14.7

2. 配 当

当期の年間配当額は、1株当たり150円を実施する予定であります。(前年同期150円)

3. 財政状態

総資産は157億14百万円、純資産は136億63百万円、自己資本比率86.6%、1株当たり純資産額9,680円67銭であります。

4. 次期(2022年3月期)の業績予想

区分	第2四半期累計期間		通期	
	金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)
売上高	3,270	5.9	7,000	7.7
営業利益	89	20.6	400	116.1
経常利益	94	65.3	410	177.6
当期純利益	60	92.6	275	219.8

製品分類別売上高の計画(通期)

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,800	25.7	3.7
スチール機材	1,200	17.1	5.1
製作金物	3,600	51.4	12.0
その他	400	5.7	△0.8
合計	7,000	100.0	7.7

5. 設備投資及び減価償却費(有形固定資産)

	当期実績	次期計画
設備投資額	2億2百万円 (金型、鋳造関連設備等)	9億円 (鋳造関連設備、スチール機材設備等)
減価償却費	3億9百万円	3億円